

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	公募による随意契約	
契約の件名及び数量	平成29年度メール便(角形2号サイズ)請負業務	
契約締結日	平成29年3月15日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本郵便株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年2月3日 公募公告	
	平成29年3月3日 参加申請書類提出〆切	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、29年度は29日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から20営業日以上とし、29年度は28日間20営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	
回答内容		仕様の「日本国内全域に配送が可能であること。」を満たさない。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
仕様内容を精査し、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業者からの聴き取りを踏まえ、仕様内容を変更するとともに、契約方式を公募から一般競争に変更する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
伊田若江委員、枝川明敬委員、笹川隆司委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成29・30年度国立劇場構内の電話設備保守等業務委託	
契約締結日	平成29年3月17日	
契約の相手方の商号又は名称等	沖ウインテック株式会社	
入札経緯及び結果	入札公告 平成29年2月15日(初度)／平成29年3月9日(再度) 競争参加申請書類提出×切 平成29年2月24日(初度)／平成29年3月13日(再度) 開札 平成29年3月2日(初度)／平成29年3月16日(再度)	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、30日間確保する予定としていた。(結果として、競争参加者不在により再度公告を行ったため、16日間の確保となった。)
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、15日間11営業日確保した。(競争参加者不在により再度公告を行ったため、7日間5営業日の確保となった。)
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	
回答内容		設備の基盤情報が非開示であるため、保守点検業務を行うことができない。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
機器の特性を踏まえ、同業他社の競争参加の可否を調査した結果、契約方式を随意契約にする。		
契約監視委員会のコメント		
機器の特性を確認し、競争参加の可否を調査し、契約方式の適否を検討する方向での改善策は適切な措置と認める。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査し、競争参加者の有無を確認した上で、契約方式を随意契約にする。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
伊田若江委員、枝川明敬委員、笹川隆司委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成29年度情報技術の情報提供及びアドバイザー業務	
契約締結日	平成29年2月28日	
契約の相手方の商号又は名称等	ガートナージャパン株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年2月9日 入札公告	
	平成29年2月20日 競争参加申請書類提出〆切 平成29年2月23日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、29年度は37日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、29年度は14日間10営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	
回答内容		仕様の「ITに係る市場動向及び技術動向に関するレポートの発行業務」を行っていない。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き、業界の状況を調査しつつ、改善策を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
応札の可能性が考えられる企業に対する周知の努力を継続すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
随意契約事前確認公募を行い、現行業者以外に履行可能な業者の存在の有無を確認した上で調達する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
伊田若江委員、枝川明敬委員、笹川隆司委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成29年度コピー用紙の供給	
契約締結日	平成29年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	西ノ宮株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年2月3日 入札公告	
	平成29年2月16日 競争参加申請書類提出×切	
	平成29年2月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務の趣旨・求める条件等を具体的・明解・正確な表示とすべく、見直しを図っている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務等に必要な準備期間の目標を概ね1ヶ月以上とし、29年度は43日間確保した。
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、29年度は14日間10営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	
回答内容		共同調達の仕様が統一していないためスケールメリットが生じない。また、搬入経路に制約があり大型トラックによる納品が困難。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
共同調達の相手方を見直し、仕様内容を精査した上で、より参加しやすい方法を検討する。		
契約監視委員会のコメント		
業界の状況を調査しつつ、改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
共同調達を行う法人間の情報共有や仕様内容の精査により、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
伊田若江委員、枝川明敬委員、笹川隆司委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本芸術文化振興会	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	平成29年度日本芸術文化振興会所蔵図書資料の遡及入力業務	
契約締結日	平成29年10月17日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社図書館流通センター	
入札経緯及び結果	平成29年9月25日 入札公告	
	平成29年10月4日 競争参加申請書類提出×切	
	平成29年10月10日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	開札時期を早め履行期間を十分に確保するとともに、資格要件の緩和を行うなどの見直しを図った。
②業務等準備期間の十分な確保	—	
③公告期間の見直し	○	平成22年度から10営業日以上とし、29年度は15日間10営業日。
④公告周知方法の改善	○	平成22年度から仕様書、その他競争参加に必要な情報及び提出書類のフォームなど全ての必要書類をホームページ上に掲載し、ダウンロードを可能とするなど競争参加者増を図っている。
⑤電子入札システムの導入	×	検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	
回答内容		仕様の「CARIN-iの入力作業が可能なこと。」を満たす人員が少なく、履行期間に人員を確保することができない。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
開札時期を早めて履行期間を十分に確保し、より参加しやすい方向に改善する。		
契約監視委員会のコメント		
改善する方向で適切な措置を期待する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
業界の状況を調査しつつ、公告時期、業務等準備期間の見直しなどを行い、より参加しやすい方法を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
伊田若江委員、枝川明敬委員、笹川隆司委員、藤川裕紀子委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。